

水際線サインについて

令和8年3月30日
都市整備局 都市デザイン室

<本日の報告内容>

1. 主なご意見について
2. 水際線サインの種類と役割
3. 結節点サイン 設置場所及びデザイン
4. ルートサイン 色について

【報告理由】

前回の審議会で、水際線サインについて、デザイン調整会議や景観アドバイザーの意見を頂きながら進めていくことでご了承いただきました。その後、審議会、景観アドバイザー、デザイン調整会議のご意見を踏まえて計画案と取りまとめましたのでご報告いたします。

1. 主なご意見について

(1) 結節点サイン

* 設置場所

- ・遠景と近景の両方の場所から視認させることは難しく、また設置する 7 本のサインが同時に視界に入ることはないため、近景で設置した時に景観を阻害しない場所に設置できるとよい

* 表示内容

- ・まちなかへの誘導効果を高めるには、アイコンや色彩が重要となる
- ・ロゴについては、地域との連動性を高める仕組みがあるとよい
- ・まちのストーリーを伝えることや、広報を行うことが大事
- ・多様な人々を対象としたユニバーサルデザインを取り入れられるとよい

* 大きさ

- ・大きすぎるのではないか
- ・大きさは、工夫次第でボリュームを抑えることが可能

* 全体

- ・各パークはすでに完成されたデザインで存在しているため、新たに設置するサインもそれに見合う優れたものとする必要がある
- ・検討過程や検討結果についても、あわせて示してほしい

(2) ルートサイン

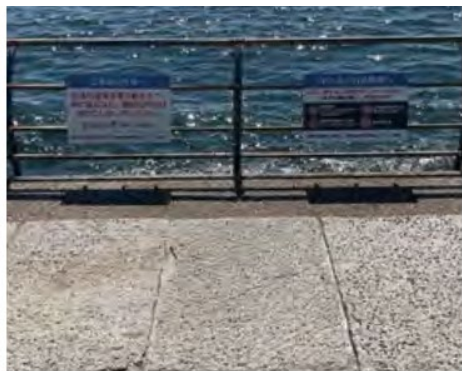
- ・色彩は、目立ちすぎると景観を損ない、逆に控えめすぎると機能しにくいことを踏まえて、適切な色を選定できるとよい
- ・設置が過多になり過ぎないようにする

◆ 水際線の既存サイン

【現状と課題】

- ・ 水際線沿いにあるサインの多くは、禁止や注意喚起が多く設置され、施設前に施設名の表示はあるものの、水際線上や付近にある施設等を案内する地図はほとんどない状況です。
- ・ 水際線上の居場所が分かるものとして、概ね1 kmおきにバイウォークという路面標示はあるが、数が限られています。

●禁止や注意喚起



C-02 柵越え,投げ釣り禁止 (複数)



C-03 立入禁止 (複数)



5) 波注意

●施設名(施設の前に設置)



新港ふ頭 8号 岸壁 名称



シーバスターミナル 名称



D4 ぶかり 名称、掲示板

●距離表示(バイウォーク) 始終点を含めて7か所設置



2. 水際線サインの種類と役割

水際線とまちからの軸線が交差する7か所に「結節点サイン」を設置するとともに、水際線上を楽しみながら移動できるよう路面上に「ルートサイン」を設置することで、水際線とまちの回遊性の向上を図ります

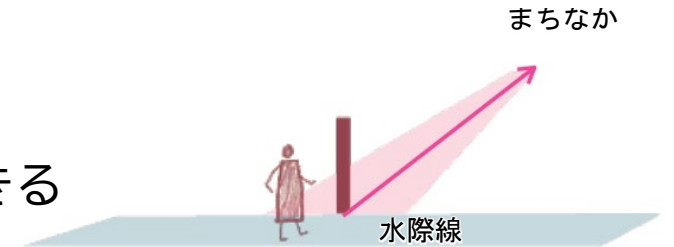


3. 結節点サイン ～設置位置の考え方について～

(1) 設置位置の基本的な考え方

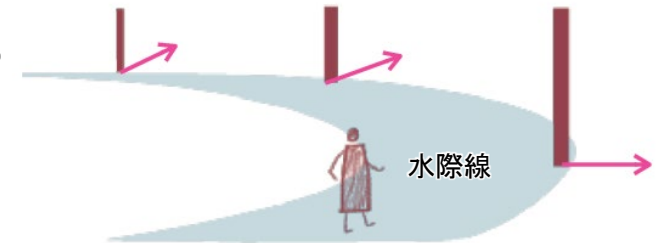
① マップやまちなかの情報を表示することでまちなかへ誘導

水際線からまちなかへ向かう案内が少なく、水際線からまちなかへ誘導できるようにルートサインから視認できる場所に設置



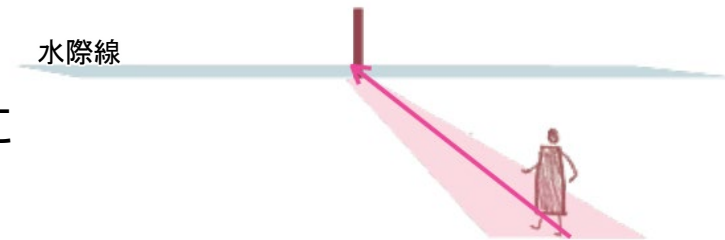
② 水際線上から視認しやすく、水際線のチェックポイントの役割も持つ

自分が水際に居ることは分かるが、水際線のどのあたり居るのか、水際線をどれくらい進んだのか分かるようにルートサインから視認できる場所に設置



③ まちからも可能な限り視認できる

まち側からもサインを視認できれば、海が見えなくても水際線を目指す指標になるように、まち側からの視認性にも配慮した場所に設置



【結節点サイン設置場所イメージ】

● 臨港パークエリア（キング軸）⇄横浜駅



▼キング軸からの視認性（まち側からの景観）



● 臨港パークエリア（クィーン軸）⇄桜木町駅



▼クィーン軸からの視認性（まち側からの景観）



【結節点サイン設置場所イメージ】

- ハンマーヘッド周辺エリア⇄馬車道駅・関内駅



- 象の鼻エリア⇄日本大通り・関内駅



- 赤レンガエリア⇄汽車道・桜木町駅



象の鼻エリア（まち側からの景観）▶

【結節点サイン設置場所イメージ】

● 山下公園⇄中華街・石川町駅



▼山下公園（まち側からの景観）

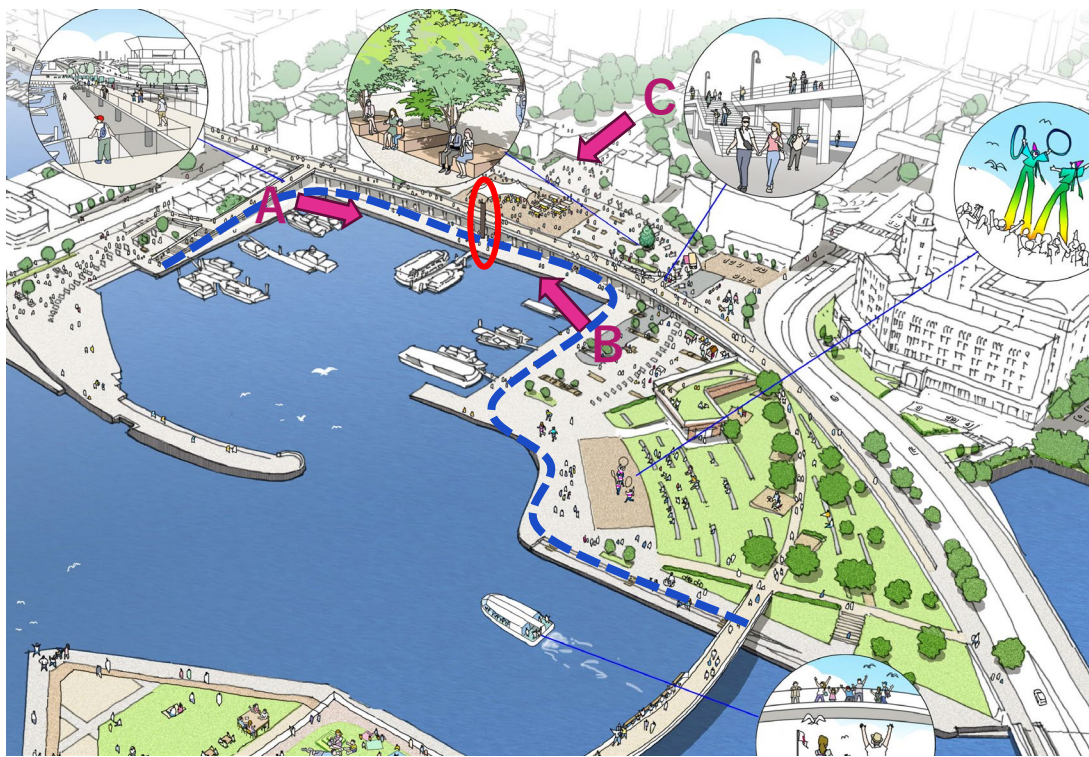


● 山下公園⇄元町・石川町駅



▼山下公園（まち側からの景観）





(2) 象の鼻エリアについて

* 目指す姿…コンセプトプランより抜粋

- ・象の鼻エリアは、日本大通りやみなと大通りなどのまちなかを結ぶ道路につながっており、まちや水際線に向かう人々が行き交う場所
- ・象の鼻テラスのリニューアルや思わず足を止めたくなる魅力的なイベントの展開することで、更に多くの人々を惹きつけるエリアへと進化させていく

* 設置位置の考え方

- ・象の鼻パークをなぞるルート(-----)をメインルートとし、行き交う人々の目に留まるよう設定(臨港線プロムナードは視点場サイン)
- ・大栈橋側(写真A)、象の鼻テラス側(写真B)の両方のアプローチから視認可能
- ・陸側からも見えるよう臨港線プロムナードの柱の間に設置(写真C)



3. 結節点サイン ～デザインについて～

●色・モチーフの考え方



- ①「海の青」と「水際線を構成する5つのエリアを示すカラー」で水際線を可視化
- ②平行四辺形をモチーフにして「水際線を人が行き交う様子」を表現

***大きさ**
高さ4.0m、幅0.9m
↓
高さ3.6m 幅0.6m

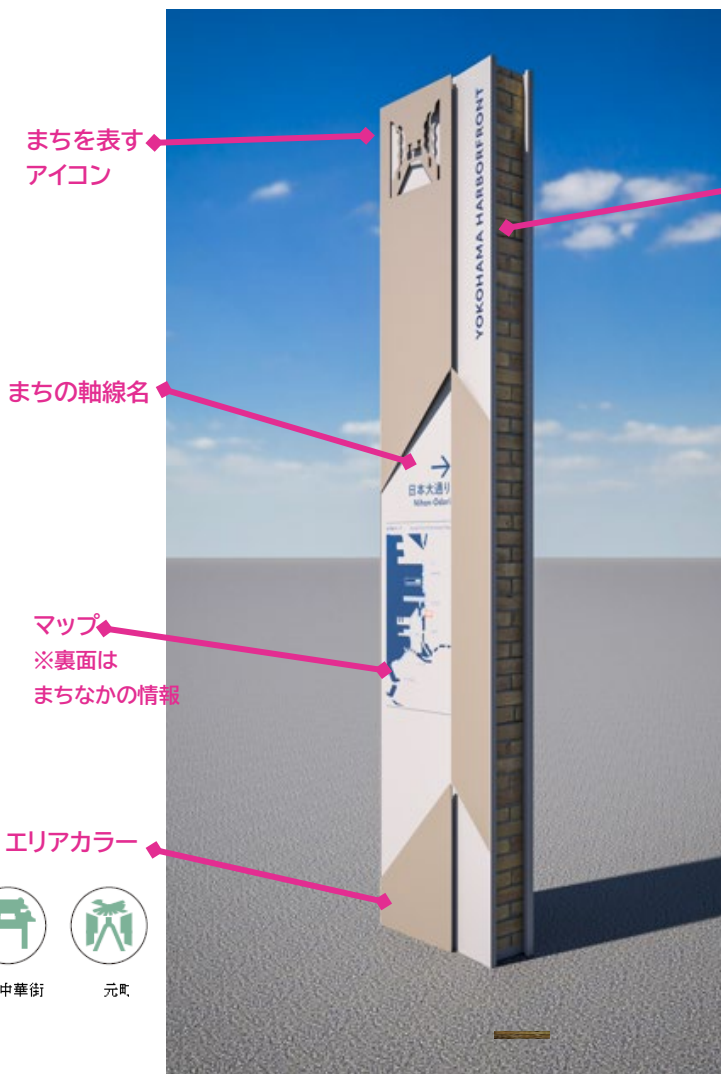
***色**
ルートサインと同様の色合いとし
統一感を持たせる

***マップ、まちなかの情報**
まちなかへ行きたくなるマップや
まちなかの情報を掲出

***照明**
マップやまちなかの情報が夜間も
視認できる仕様

***名称**
Yokohama Harborfrontを
盤面に掲出

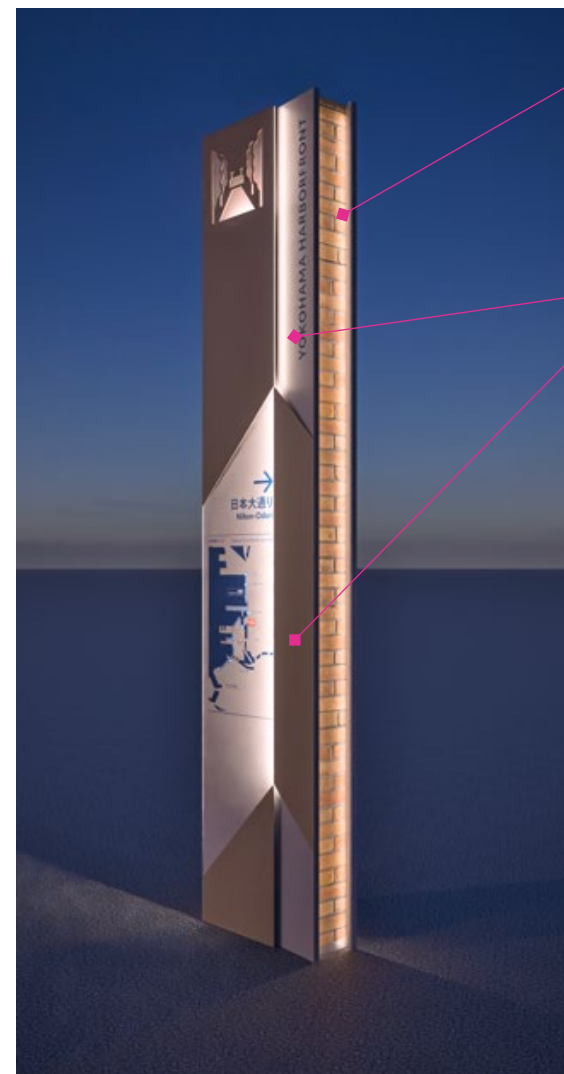
***アイストップとなるアイコン**
上部にまちなかを表すアイコンを
設置



まちの軸線
を象徴する素
材を間に挟む

ステンレス	キング軸
白御影石	クイーン軸
レンガ	馬車道
鉄	汽車道
スクラッチ タイル	日本大通り

夜間イメージ画像



軸線側の照明
カラーライティング対応

ライン照明
夜間でも盤面を
視認可能に

4. ルートサイン ～色について～

水際線を分かりやすく誘導し、楽しく追えるサイン

●色・モチーフの考え方



- ①「海の青」と「水際線を構成する5つのエリアを示すカラー」で水際線を可視化
- ②平行四辺形をモチーフにして「水際線を人が行き交う様子」を表現



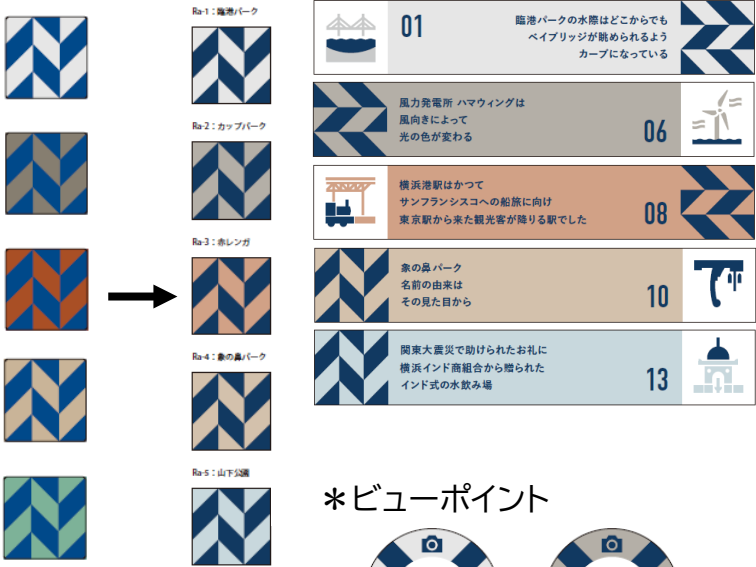
- ・全体のトーンを淡い色合いに変更
- ・ベースの青は落ち着きのある青に変更

エリア名	カラー
【臨港パークエリア】 MM中央地区の白	
【ハンマーヘッド周辺】 ハンマーヘッドクレーンの濃いグレー	
【赤レンガエリア】 赤レンガの赤茶系	 →
【象の鼻エリア】 象をイメージさせるグレー	
【山下公園】 山下公園の緑	 →
水際線ベース	 →

●サインへの展開例

(エリアごとにルートサインのカラーが異なる)

例:インフォメーション



*ビューポイント

